



けものおとHP

【けものおと（鳥獣被害予防アプリ）】

もくげき 農家・住民・観光客むけ

- 鳥獣被害の早期発見・対策に
- 車衝突の防止に ● 人的被害の防止に

ほかく 捕獲従事者・ジビエむけ

- 見回り労力軽減に ● 早期処理に
- ジビエ利活用に ● 捕獲場所の選定に



もくげき投稿
目撃情報や被害状況を
登録・共有可能

もくげきマップ
目撃情報や被害状況を
地図上で確認可能

もくげきリスト
目撃情報や被害状況を
一覧で確認可能

けもの予報
目撃情報や被害状況を
地図上で確認可能



ほかく報告
捕獲情報や被害状況を
登録・共有可能

ほかくマップ
捕獲情報や被害状況を
地図上で確認可能

ほかくリスト
捕獲情報や被害状況を
一覧で確認可能

ほかくバナー
捕獲情報や被害状況を
地図上で確認可能

【価格】

【イニシャルコスト】50万円

Web構築作業／ユーザー登録補助／導入サポート他

【ランニングコスト】月額1.5万円～

連絡先

(株) アイエスイー
TEL : 0596-36-3805
Mail : info@ise-hp.com



【製品説明】

- スマートフォン上の地図で鳥獣の出没や捕獲に関する情報を共有可能。
- 地域内でイノシシ・シカ・サル・クマなどの出没情報を登録・共有することで、農作物被害の早期発見・対策や、野生生物との接触事故の防止などに活用可能。

【これまでの実績、利用者の声】

- 「五島市鳥獣被害対策ICTイノベーション事業」にて開発。自治体職員・捕獲従事者・農家・住民などがアプリを活用
https://www.soumu.go.jp/main_content/000854822.pdf
- R4年度 全国30自治体、組織でモニター実施 ● 鳥取市（鳥取県）、奈良県、沼田市（群馬県）、長野県、大町市、飯山市（長野県）郡上市（岐阜県）等で活用中

【実施事例】

もくげきマップ



目撃情報が地図上にプロット



目撃情報の内容を表示

もくげきリスト



目撃投稿（出没の痕跡や農作物被害等）の情報を確認できる



【事例説明】

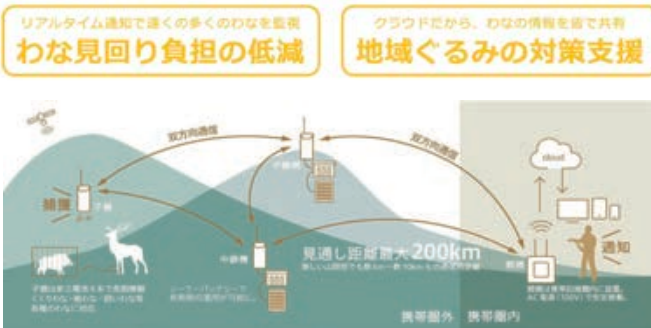
- 目撃情報等を基に警報発出する有害鳥獣の出没予報機能により、衝突事故を未然に予防できるようになった。（五島市）
- 住民から寄せられたクマの出没情報をアプリ内で蓄積し、住民間で情報共有することで、事故や被害の防止につながっている。（飯山市）

<(株)フォレストシー>

【 GeoWana(ジオワナ) ※旧リワナシステム 】



携帯圏外対応 捕獲通知システム



【対象営農類型】

水稲	畑作	露地野菜	施設野菜	果樹	茶
----	----	------	------	----	---

【価格】

都度お問い合わせ

連絡先

(株) フォレストシー IoT通信事業部
03-5245-1511
fs_info@geowave.jp
<https://satoyama-connect.jp>

【製品説明】

- 独自の長距離無線で、携帯圏外の山奥にあるわなでも作動状況を遠隔監視できる製品です。
- 専用のアプリで捕獲通知を受け取ることで、見回り作業の効率化に貢献します。
- 捕獲情報をクラウドで管理することで、わなの作動状況を共有、可視化することができます。

【これまでの実績、利用者の声】

- このシステムを導入したことで見回り負担が軽減し、少人数で効率的に捕獲できるようになった。

【実施事例】

2018年春より販売開始

全国80地域以上で
導入・実装稼働!!



2023年5月時点

【事例説明】

- 全国80地域以上で導入実績がある。
- 1,000台以上の機器が稼働中。
- 電波の到達距離が最大200kmにも及ぶ通信範囲の広さ、通信量が無料であることから、低コストで山間部を含む広いエリアをカバーする通信インフラを構築できた。
- システムの導入により捕獲従事者のわな見回り負担が大幅に減った。
- 少ない捕獲従事者でも多くのわなを遠隔監視することで効率的に運用することが可能になった。
- より多くの捕獲が期待できる、遠隔地の奥山にもわなを仕掛けようと、捕獲業務のモチベーションが向上した。
- 捕獲後の個体への迅速な処理が可能となり、動物福祉の観点でも、ジビエ利活用の観点でも対応の質が向上した。また、ニホンザル等への迅速なGPS首輪装着も可能となり、生態調査・追い払いの効率化にもつながった。



【ドローンを活用した加害個体群の捕獲効率化支援】

特許取得済



※農作物等の被害が多く発生している地域で実施



※捕獲従事者に説明しわな設置箇所を検討



※数値はあくまで実績に基づく一例です

【価格】

- 80万円/100ha(例)

【利用分野】

農業散布 肥料散布 播種 受粉 農産物運搬 ほ場センシング 鳥獣害対策

【製品説明】

- ドローンを活用して捕獲従事者の捕獲効率を向上させます。

📞 連絡先

(株) スカイシーカー
TEL : 03-6260-8960
MAIL : ss-ict-support@skyseeker.jp
URL : <https://skyseeker.jp/investigation/>

①



① 赤外線カメラを搭載したドローンによってシカ・イノシシを撮影

- 農作物等の被害が多く発生している地域で実施
- 赤外線カメラを搭載したドローンで約100haを調査した結果、シカ等が100頭以上確認できることもある
- 撮影データから移動状況や生息範囲および、緯度経度情報を取得する

② マップ化しシカ等の位置を可視化 ②

- 撮影データからシカの緯度経度情報、頭数、時刻を集約しマップ化する
- 同一場所で複数回調査を実施している場合は、前回分と比較できる体裁を取って可視化する
- 可視化することで捕獲従事者の捕獲に対する士気を向上させることもできる



③



③ 捕獲従事者に即座に情報共有

- 撮影日の翌日中までに捕獲従事者に情報共有を行い、調査結果を基にくりわなを設置する
- 前年度では100基あたり約1.90頭の捕獲効率であったが、当該年度では100基あたり3.05頭の捕獲効率で約1.6倍の成果が見られた
- 実際に農作物被害の減少が認められる例もあり

<(株)スカイシーカー> (再掲)

【ドローンを活用した集落環境調査】

Sky Seeker



詳しくはこちら



【製品説明】

- ドローンを活用して集落のオルソ画像を撮影します
- オルソ画像から最新の集落的特徴を抽出します

- オルソ画像上に痕跡や対策案を描画し加害個体群に対する集落侵入抑制や集落の合意形成に活用します

【価格】

- 50万円/30ha(例)

【利用分野】

農業散布 肥料散布 播種 受粉 農産物運搬 ぼ場センシング 鳥獣害対策

☞ 連絡先

(株) スカイシーカー

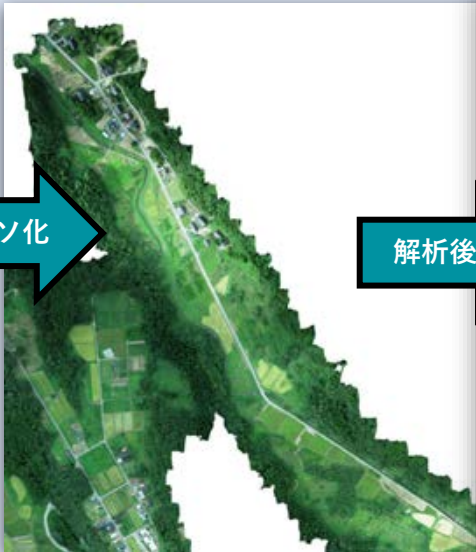
TEL : 03-6260-8960

MAIL : ss-ict-support@skyseeker.jp

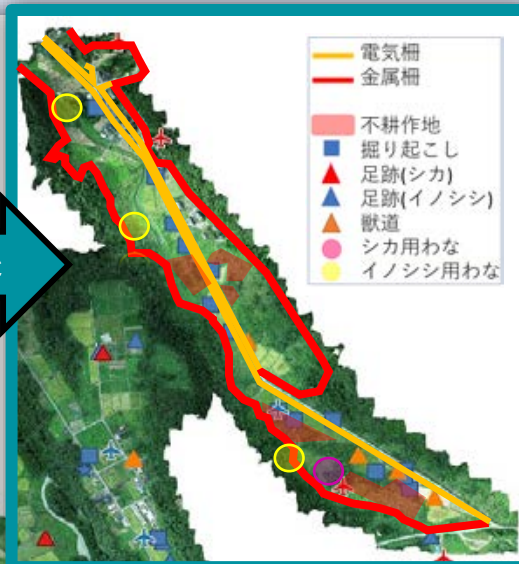
URL : <https://skyseeker.jp/investigation/>



オルソ化



解析後



ドローンを飛行させ
集落や農地を撮影

【課題】

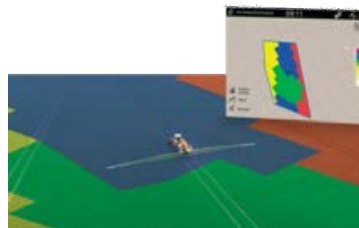
- ・ 集落に加害個体群(シカ・イノシシ)が出没している
- ・ 掘り起こしなどの農業被害に悩まされている
- ・ どういう対策が効果的なのか分からない
- ・ 優先的に対策すべき箇所が分からない
- ・ 加害個体群の集落への侵入経路が分からない
- ・ 被害にあって農地が誰の所有なのか分からない

【調査後】

- ・ 痕跡調査を省力化することが可能
- ・ 各集落に合わせた対策案を検討し図示
- ・ 柵の倒伏箇所をドローンで確認し適切な対策を施すことで加害個体の侵入抑制
- ・ 不耕作地を可視化することで刈り払いの必要性の周知や所有者の確認に繋がる

<井関農機(株)>

【アマゾーネ スプレーヤー UF UX PANTERA】



【対象営農類型】

水稻	畑作	露地野菜	施設野菜	果樹	茶
----	----	------	------	----	---

【価格(税込)】

UF (直装) : 1,372万円～
 UX (けん引) : 3,621万円～
 PANTERA (自走) : 12,290万円～

☎連絡先

井関農機(株)営業本部 アグリインフル事業部
 TEL : 03-5604-7643
 imple@iseki.co.jp
<https://www.iseki.co.jp/>

【製品説明】

- アマゾーネスプレーヤーのブームは安定性に優れ、振動や揺れを最小限に抑え高速作業でも安定して散布作業が可能。
- セクションコントロールで作業幅を自動制御し枕地や変形ほ場での重複散布を軽減。
- ISOBUS端末に可変マップを入れることで可変散布が可能。

※セクションコントロール、可変散布には別途GPS位置情報を端末への入力が必要)

UFシリーズのセクションコントロール

9または11セクションの安定の基本仕様はもちろん
50cm(※)の超精密セクション分けも可能

UFシリーズは、ノズルピッチ(ノズルの間隔)50cmをベースに、ノズル集団をいくつかのセクションに分けています。そのセクションごとの入り切りを自動で行う、セクションコントロールが可能です。高速作業と精密作業の両立、オーバーラップの削減による薬液量の削減、及び、作物へのダメージ軽減などのメリットがあります。

例：散布幅24m、7セクションに分けた場合の重複散布エリア

7セクションコントロール

シングルノズルコントロール

※セクション幅50cmでの重複散布エリア

9&11セクション

(通常のセクションコントロール)

通常のセクション分けを行うことが出来ます。通常散布に比べ約3～8%の薬液軽減効果があります。 ※AMATRON4000専用。GPS-Switch対応システムが必要です。 ※AMATRON44専用。GPS-Switch Basicが必要です。

シングルノズルコントロール

(セクション幅50cm)

個別ノズルコントロールの決定的なメリットは、枕地及び三角地でのオーバーラップの削減です。アマスイッチを組み合わせたシングルノズルコントロールで、各セクションの散布幅50cmを実現します。これにより、通常のセクションコントロールに比べ、最大で85%、オーバーラップエリアを削減します。

※セクション幅50cmのシングルノズルコントロールは、AMATRON4000専用。GPS-Switch対応システムが必要です。 ※AMATRON44専用。GPS-Switch Basicが必要です。 ※AMATRON44専用。GPS-Switch Basicが必要です。

ターミナル「AMATRON4」を用いたセクションコントロール画面

※セクション幅50cmでの重複散布エリア

- ブーム幅から分割するセクション数（5、7、9、11、シングルノズル）を注文時に選択できます。
- セクション数が多い程、変形ほ場でのオーバーラップ量が削減されます。
- ノズルピッチが50cm間隔で装着されており、シングルノズルコントロールでは作業幅50cmごとにセクションコントロールが可能であり、オーバーラップ量は最小に抑えることができ、使用する液剤の削減、作物へのダメージを軽減できます。

<(株)ビコンジャパン> 【 ブームスプレーヤー 】

Vicon (株)ビコンジャパン



【対象営農類型】

水稲	畑作	露地野菜	施設野菜	果樹	茶
----	----	------	------	----	---

【価格】

¥ 11,410,000 (税込み) ~

👉 連絡先

(株) ビコンジャパン 営業部
TEL : 0123-26-2241
<https://www.viconjapan.com>

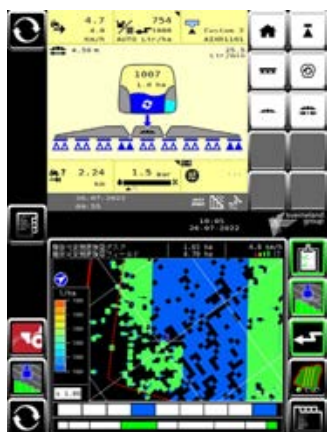
【製品説明】

- ブームバランスシステムによる正確な農薬散布。
- 車速連動と流量センサーのリアルタイム制御により正確な散布量。
- GPS位置情報を基に農薬の二重散布を防止やマップに合わせたピンポイント散布が可能

【これまでの実績、利用者の声】

- 累計実績約 50 台 全農xarvioをはじめとした、さまざまな可変マップに対応

【実施事例】



【事例説明】

- 2021年に北海道庁農政部・ホクレン・ドコモ（現NTTコミュニケーションズ）の3者と連携し、牧草地における難防除雑草である「ギシギシ」の防除作業の実証試験を実施した。ドローンによるセンシングデータに基づき、セクションコントロール機能を用いてギシギシの生育数が多いポイントに除草剤の局所散布を行った結果、全面散布区に対して約90%以上散布量を削減しても、防除効果は全面散布区と遜色ない（ギシギシの個体数の減少率：全面散布区40%、局所散布区34%）という結果が得られた。